

ダイバーシティ・マネジメントセミナー実施報告

1 開催概要

(ア) 日時

2023年2月20日(月) 10:30~12:00

(イ) 開催方法

オンライン開催 (Zoom ウェビナー)

(ウ) 概要

内閣府男女共同参画局は、一般社団法人日本経済団体連合会(以下、「経団連」という。)と共催で、「職場における無意識の思い込み(アンコンシャスバイアス)への気づき」をテーマに、ダイバーシティ・マネジメントセミナーをオンラインで開催し、全国から約1,200名の参加申込みがあった。

高島屋社長の村田善郎氏による基調講演の後、アンコンシャスバイアス研究所代表理事の守屋智敬氏がアンコンシャスバイアスについて知る、気づく、対処するための方法を紹介した。概要は次のとおり。

2 実施報告

基調講演 「ダイバーシティの更なる進化を目指して ～百貨店グループの責任と挑戦～」

講演者：株式会社高島屋代表取締役社長

村田 善郎氏

高島屋は、創業当初から約 200 年にわたり、多様性と向き合い、1979 年に東証一部上場企業で初めて女性重役を誕生させた歴史を持つ。「いつも、人から。」の経営理念のもと、会社として育児と仕事の両立支援をはじめ様々な制度を充実させてきた。しかし、制度整備の



みならず、意識風土、組織文化改革が伴わなければ、今後の、更なる女性活躍に加え、多様な人材が活躍できる企業へ進化できない。また、アンコンシャスバイアスを放置することはイノベーションを阻むことにも繋がり、企業発展のリスクになるということを全員で認識していくことが必要である。「当たり前」からの変革を実践し、それらを積み重ねることで既成事実や固定観念などを払拭できる。高島屋では「実践」を大切にしており、強制的に自分の仕事の枠を超える経験をすることで社員が気づきを得ることに繋がった「百貨店構造改革 マルチタスク推進」や、人事面でも、例えばイタリア出身の社員をあえて和菓子のバイヤーに起用し、和菓子の魅力を発見してもらうなど、既存の概念を払拭する取組を行っている。

講演 「アンコンシャスバイアスを知る、気づく、対処する

～ひとりひとりがイキイキと活躍する組織づくりのために」

登壇者：一般社団法人アンコンシャスバイアス研究所 代表理事

守屋 智敬氏

アンコンシャスバイアスとは、私たちが何かを見たり、聞いたり、感じたりしたときに、実際にどうかは別として、無意識のうちに「こうだ」と思い込むことであり、誰にでもあるものである。気づかずにいると、ネガティブな影響がある



かもしれない。しかし、逆にアンコンシャスバイアスに気づくことで、ものの見方が変わり、自分自身も含めた周りの未来を変えていくことに繋がる。そのためアンコンシャスバイアスに向き合い続けることが大切である。アンコンシャスバイアスによるネガティブな影響を防ぐための対処法として次の3つ——①アンコンシャスバイアスを意識すること、②決めつけない・押しつけないこと、③相手からのサインを手掛かりに対応すること——が挙げられる。本能によるものであるため、完全になくすことはできないが、「アンコンシャスバイアスの上書き」は可能である。組織やチームの状況を振り返り、3つの対処法を意識しながらメンバーとの対話を重ねることがお互いにとってより良い未来に繋がる。

(経団連タイムス 2023年3月23日 No. 3584 を基に改編)